

● 地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしております！

★ 間もなく収穫。色づくバナナ

10月下旬、唐隈集落の大堂千賀春さん宅に、黄色く色づいたバナナが実っています。

これは、5年前友人から1株の苗を譲り受けたもので、現在では背丈が約6尺にも成長しています。昨年は初めて1房が実り、今年は5房のバナナが収穫時期を迎えました。近日中に切り取り、熟成させてから食べるということです。

大堂さんは「ここまでたくさんの実がなるとは思わなかった。近所におすそ分けして喜んでもらいたい」と実ったバナナを見て微笑んでいました。



10月29日、黄色く色づいたバナナと大堂さん↑

★ 古 第19回長島古墳まつり 代の文化と生活を体験

10月20日、長島町島援隊（濱田孝一隊長）が主催する、第19回長島古墳まつりが、ながしま風車公園で開催されました。

この日は、町内の小学生ら約200人が参加し、「鎮魂^{ちんこん}」の儀式を執り行った後、火おこしや勾玉づくり、弓矢の操作など大昔の生活体験をしました。専用の道具を使った火おこし体験では、なかなか火が付けられず、四苦八苦していました。男の子らに一番人気のあった弓矢は、行列ができるなど大盛況となり、的を一生懸命狙っていました。祭りの最後には、これまで同隊と親睦のある十島村のジャンベ演奏もあり、参加した子どもたちは楽しい時間を過ごしていました。参加した川床小学校3年の中村颯海くんは「自分が想像した勾玉づくりは楽しい」と話し、手づくりの作品に満足していました。



↑勾玉づくりで原石に下書きをする子どもたち

←サプライズで訪れ披露した十島村のジャンベ演奏

手づくりみそと花束をプレゼントする福寄会長↓



★ 手 東生活研究グループが桃源郷を訪問 製の“長島みそ”を味わって

東生活研究グループ（福寄タズ工会長、会員15人）は、10月2日、特別養護老人ホーム桃源郷を訪問し、手づくりのみそ10kgを花束を添えてプレゼントしました。福寄会長は「例年の活動で、入所者の喜ぶ顔が見れるのがうれしい」と話しました。入所者の坂口敏枝さんは「昔ながらの手法で作る手づくり味噌は格別でおいしい」と夕食の味噌汁を楽しみにしていました。

あんなこと、こんなこと、
耳より情報